

韓国半導体市場において、電子材料製品の拡販を強化！
富士フィルム 韓国に半導体材料の製造会社を設立

平成 23 年 11 月 17 日

富士フィルム株式会社(社長:古森 重隆)の半導体材料の製造・販売子会社である富士フィルム エレクトロニクスマテリアルズ株式会社(社長:石川 隆利、以下、FFEM)は、韓国内に富士フィルムグループが 95%^{*1}出資する半導体材料の製造会社を設立します。本日、新会社に 5%の出資を予定している^{エグザクス}exax社(本社:韓国・慶尚北道)との間で、合併会社設立およびexax社の工場設備等一部資産の新会社への譲渡に関する契約を締結しました。新会社による生産開始は平成 24 年 3 月を予定していません。

*1 出資比率は、富士フィルム子会社の FFEM が 72%、FFEM の台湾子会社 FUJIFILM Electronic Materials Taiwan Co., Ltd. が 23%、その他 exax 社が 5%を予定。

exax 社は 1976 年に創業、ディスプレイ材料等の事業を手掛ける化学メーカーで、韓国大手ディスプレイメーカーを中心に材料供給を行っています。新会社は exax 社が持つ土地・建物・設備を有効活用し、韓国の大手半導体メーカーに対し、富士フィルムの独自技術を応用した最先端の半導体製造工程に対応する現像液や CMP スラリー、クリーナーなど電子材料製品の供給を進めていきます。

アジアの半導体市場は、リーマンショック後も高い成長を続けています。中でも韓国市場はアジア半導体市場での存在感をさらに増しており、今後も高い成長が見込まれています。今回の製造子会社設立により、デリバリーの効率化や顧客ニーズへの対応力を高め、さらなる顧客満足度の向上を図ります。

富士フィルムは高機能材料分野を重点事業の一つと位置付け、FFEM のアジア・米国・ベルギーの拠点を通じて、半導体製造工程で使用される材料・機器・サービスをグローバルに供給する体制を整えています。今回、韓国に製造拠点を加えることにより電子材料事業の一層の拡大を図り、半導体デバイス産業の発展に貢献していきます。

<新会社の概要>

- | | |
|-------------|---|
| 1. 社名 | FUJIFILM Electronic Materials Manufacturing Korea Co., Ltd. |
| 2. 所在地 | 韓国忠清南道天安市西北区業成洞 624 番 |
| 3. 代表者 | 石川 隆利 (富士フィルム株式会社 執行役員 エレクトロニクスマテリアルズ事業部長) |
| 4. 事業内容 | 半導体向け電子材料製品(現像液、CMP スラリー、クリーナー等)の製造 |
| 5. 設立時期 | 平成 24 年 1 月末(予定) |
| 6. 資本金 | 230 億ウォン |
| 7. 出資比率(予定) | FFEM:72%、FUJIFILM Electronic Materials Taiwan Co., Ltd.:23%、exax 社:5% |

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係 富士フィルム 広報部 03-6271-2000

お客様 富士フィルム エレクトロニクスマテリアルズ株式会社 経営企画部 03-3406-6379